

2017. 3. 15 第59号

くにくさだより

編集・発行：安芸区阿戸町418-1 あと会広報事業部
TEL (082) 856-0222
<http://www.kunikusa.or.jp/>

題字 升味 美佐子様



今年もこの時期恒例、味噌づくりが開催されました。美味しい味噌をいちから作るにはたくさんの手間暇が必要です。石臼で十分に大豆をすりつぶし、塩ぎりした麴とよく混ぜ合わせます。その後空気が入らない様に丸めたみそ玉を樽にたたきつけ、表面をならし軽く塩をふり、じっくりねかせてはじめて美味しい味噌



が出来上がります。たくさんのご利用者、面会に来られたご家族の協力も得て、今年は麦味噌・米味噌合わせて約100kgの味噌をつくりました。心を込めて作った味噌はご利用者に昔を懐かしんでいただくと共に、春にむけて活力を引き出してくれる行事の様に思います。「私に任せとんさい」と慣れた手つ



きで杵を持ち大豆をひかれる光景がとても印象的でした。また職員にとってもいつもとは違うご利用者の表情や、お話が聞けることでより一層新鮮な気持ちでご利用者と関わられたと思います。昼食には、昨年度の味噌づくりで作った味噌を使用した豚汁、鮭雑炊、肉まんなど冬にはもってこいのメ



ニューが並び花を添えました。つくった味噌は今からあと会本部の安芸区阿戸町の蔵でクラシックを聴かせながら十分にねかせます。来年には美味しい味噌がご利用者の口に運ばれることを職員一同心待ちにしています。
(でじま・くにくさ 生活相談員 平尾 晃)

くにくさ自家製味噌づくり

2月15日 くにくさ苑

2月22日 ふかわ・くにくさ

2月24日 でじま・くにくさ



第18弾

字品・くにくさ

字品・くにくさ介護相談センター

◎字品・くにくさ居宅介護支援事業所

◎字品・くにくさ訪問介護事業所

字品・くにくさ居宅介護支援事業所

字品・くにくさ訪問介護事業所



TEL : 082 - 236 - 9293

昨年8月1日「字品・くにくさ居宅介護支援事業所」として開設し、半年が経ちました。開設当初は周りの方になかなか周知して頂けませんでした。半年が経ち少しずつですが、地域の皆様に周知頂き、相談に来て頂いたり、声を掛けて頂けるようになりました。昨年11月から新しい女性ケアマネジャーを迎え、2人体制となりました。また12月からは訪問介護事業所が併設となり、5名のヘルパーさんが仲間に加わり、皆明るい性格の為、毎日笑いの耐えない、明るい職場

へと生まれ変わりました。これからも皆様に信頼して頂ける、地域に密着した事業所として、ご利用者、ご家族、地域の皆様により豊かで充実した生活の実現の為に精進してまいります。どうぞ、これからも宜しく願います。

(管理者 築村 祐介)



字品・くにくさ
介護相談センター

「字品・くにくさ訪問介護事業所」の管理者として勤めさせて頂いてます。中村 眞由美と申します。在宅介護の需要が高まっている中で、あと会理念、3Yのこころ「やすらぎ」「喜び」「豊かさ」の理念に基づき、ご利用者の心身の状況や生活環境等に応じた適切なサービス「思い」「気持ち」を大切に、住み慣れた地域、快適で安心できる生活を送って頂けるよう日々頑張っています。職員1人ひとりが本当に明るく訪問ケアに臨んでいます。事業所内では毎日笑いの絶

えない雰囲気です。毎月1回はミーティングを開き、介護、医療、介護技術の知識向上に向けての勉強に励んでいます。お陰様でご利用者、ご家族には信頼を得て頂き、安心して生活を送られておられます。地域の皆様、ご家族と共に訪問介護事業に努めていく所存でございます。今後とも、皆様の暖かいご支援を賜りながら地域密着1番を目指し頑張っております。どうぞ宜しくお願い致します。

(管理者 中村 眞由美)



TEL : 082-569-9293

今月のくにくさ

広島国際大学実習生@くにくさ
Let's Study

現在くにくさ苑(特養)、りは・くにくさ(老健)では大学、専門学校、実務者研修などの現場実習を受け入れております。

実習生に介護技術やケアプランなどを伝えていくことは難しさがありますが、とてもやりがいがありますし実習施設職員としていろいろなことをお伝えしていく者としては自分たちのケアを見直す良いきっかけともなります。また、実習生の皆さんは希望を持つてのぞんでおられ、自分たちも介護に対する会話を交わすことで初心を思い起こされることもあります。そして実習生の皆さんは様々な思いを持って実習にのぞんでくださっていますが、私たちは実習を通して介護のすばらしさ、楽しさを少しでも感じていただけたらと思っており、介護の世界に飛び込んで来てくださったことが何より嬉しく思います。これからも多くの実習生と関わり、会話を重ねながら、実習生と共に自分たちのケアの質や介護への情熱を高めていきたいと思います。

(老人保健施設

りは・くにくさ

介護主任 杉本信太郎



2/13 ~ 3/11 くにくさ苑



2/13 ~ 3/11 りは・くにくさ

節分

2月3日は節分です。デイサービスセンターでじま・くにくさでも節分行事を開催しました。まず、職員が豆まきの由来のお話しをさせて頂いた後、ゲームの開催です。ボードに鬼面とお多福面をひっかけておき、豆に見立てたお手玉をお面に投げつけます。鬼面の裏には10点、100点迄の点数を付け、お多福面にはマイナス50点、100点がついています。「鬼は外!福は内!」ゲームは個人戦で、最高得点は



910点。普段腕が上がりにくい方もゲームの時間になるとお面が吹っ飛ばなど思わぬ力が発揮されるようです。豆まきには「豆をまいて悪いものを家から追い出して新しい年を迎えましょう」という意味があるそうです。ご利用者にたくさん福が訪れますように。立春も過ぎました。桃や梅も見頃ですね。

(デイサービスセンター
でじま・くにくさ
副主任 伊藤 明子)



新しい仲間がやってきました!!



名前 福太郎
愛称 ふくちゃん、ふく
種類 ペルシヤ
誕生日 2016年10月16日
年齢 生後4ヶ月
勤務地 でじま・くにくさ
性格 人懐っこく、好奇心旺盛、寂しがりや
好きなもの 音がする物（ボール等）
コメント でじま・くにくさでは、2匹目のアニマルセラ

ピーとして猫を迎え入れました。
 福太郎に会うためにわざわざ事務所まで降りてこられるご利用者がいるほど人気者です。また、福太郎の方からご利用者に会いに出張しています。まだ子猫の福太郎ですが、ご利用者だけでなく、ご家族、職員に癒しを与える存在として日々活躍しています。
 色々な所へジャンプ、流し台で水遊び、パソコンのキーボードの上を歩くなど、やんちゃな福太郎のこれからの成長を楽しみにしながら、でじま・くにくさで温かく見守っていきます。

介護の知恵袋 乾燥対策

編集後記

花の便りも少しずつ聞かれるようになり、日ごとに春の気配を肌で感じられるようになりました。今号の1面では、あと会グループ恒例の大イベント「味噌づくり」を取り上げました。阿戸・でじま・ふかわの3拠点で行い、ご利用者・実習生・職員賑やかに、そして楽しみながらの味噌づくりとなりました。味噌蔵に収められた味噌樽は、クラシックを聞きながら蔵の中で一年間過します。皆さんの気持ちがかもったこの味噌が出来上がる一年後がとも楽しみです。4月は、入社式・新生活と新しい年度のスタートが始まります。満開の桜とともに新しい仲間と出会う春が一日も早く待ち遠しいです。

（くにくさ苑 介護職 武田 正登）

4月の行事予定
 4月 入社式 お花見

このほかに、毎月ショッピング、コンサート、誕生日会を行っています。